

2023 年 7 月 12 日版

アイティフォーパッケージクラウド（IPaC）サービス概要書

1. サービス概要

- （１）アイティフォーパッケージクラウド（以下 IPaC）は、アイティフォーのパッケージ向けにサーバー基盤をサービス提供するものです。
- （２）アイティフォーのパッケージ以外にもご利用頂けます。
- （３）サービスは AWS（AmazonWebService）をベースとしたサービスとなっています。
すべての AWS のサービスを利用出来るわけではなく当社指定のサービスのみご提供となります。
- （４）当社で監視等を行うマネージドサービスとなります。

2. サービス体系

以下のサービスを提供します。

- ・仮想サーバー
- ・マネージド DB
- ・ストレージ
- ・ネットワークおよびその他サービス
- ・監視サービス
- ・保守サポート

【仮想サーバー】

仮想サーバーは、ユーザが専有できる仮想コンピュータです。AWS の仮想基盤上にお申込みいただいた分のサーバーリソースを活用可能です。

仮想マシンはサーバーの特性により 3 つのタイプを提供致します。

【サーバー】

名称	サーバー（S）タイプ	サーバー（M）タイプ	サーバー（H）タイプ
タイプ	コスト パフォーマンスモデル	ベーシックモデル	ハイパフォーマンス モデル
特性	能力は低めだが 安価に運用出来る	標準モデル。 通常はこちらを選択	標準より高い処理を要求 されるマシン
適用例	テスト用、運用管理等	本番Web、AP、DB	高負荷AP、高負荷DB
AWSのインスタンスタイプ	Tシリーズ (T2、T3)	Mシリーズ (M5,M6)	Cシリーズ (C5,C6)

各サーバーのタイプ、Disk 容量等変更はお申込みにより可能です。変更内容により

日数を要する場合がありますので予め担当営業等にご相談ください。

仮想マシンのコンソールはお客様向に解放しておりません。仮想マシンの新規作成、リソース変更、等の作業はアイティフォーにて有償で対応します。

OS 以上の操作は RDP、SSH 等を使用してお客様で操作可能です。

- ・仮想サーバーの自動フェールオーバー機能

IPaC(AWS)の機能によりサービス提供用設備等に故障が発生した際に、仮想サーバーを自動でフェイルオーバーさせる自動フェイルオーバー機能を利用できます。ただし、自動でフェイルオーバーが発生した場合、仮想サーバーのメモリ上で処理中のデータは保証されないものとします。またリージョン（データセンタ群）をまたがる構成を選択する事で冗長性を向上させることも可能です。

- ・バックアップ

IPaC(AWS)のスナップショット機能を使って仮想サーバーのデータ、マシンイメージを別ストレージにコピーすることができます。この場合スナップショット機能自体に費用は発生しませんがバックアップ先のストレージサービス（S3 等）のお申込みが必要となります。

- ・ EC2 のスナップショット機能を利用して 1 日 1 回バックアップします。
- ・ スナップショットは S3 に保管されます
- ・ S3 を別リージョンに契約する事で災害対策用のバックアップを確保する事も可能です。

- ・仮想サーバーの暗号化

機密データを安全に保存するために、仮想マシン全体を暗号化することができます。暗号鍵は暗号対象の仮想マシン単位に設定します。

【マネージド DB】

IPaC（AWS）にて DB サーバーをサービスとして提供するマネージド DB を提供します。マネージド DB のサービス特性により 3 つのタイプを提供します。

名称	DB (S) タイプ	DB (M) タイプ	DB (H) タイプ
タイプ	コスト パフォーマンスモデル	ベーシックモデル	ハイパフォーマンス モデル
特性	能力は低めだが 安価に運用出来る	標準モデル。 通常はこちらを選択	標準よりメモリを要求されるマシン
適用例	テスト用、運用管理DB等	本番DB	高負荷DB
AWSのインスタンスタイプ	tシリーズ (t2,t3)	mシリーズ (m5,m6)	rシリーズ (r5、r6)

各 DB のタイプ、Disk 容量等変更はお申込みにより可能です。変更内容により日数を要する場合がありますので予め担当営業等にご相談ください。

なおマネージド型のサービスとなっておりますので DB のセキュリティパッチ適用、バージョンアップを IPaC (AWS) で実施します。セキュリティパッチ適用、バージョンアップ実施の際は予め通知致します。決められた期間内において任意のタイミングでの実施を設定する事が可能です。

【ストレージ】

IPaC (AWS) では用途に合わせた 3 つのタイプのストレージサービスを提供します。

サービス名称	AWSサービス名称	内容
標準Disk	EBS	ストレージサービス。サーバーのローカルディスク
オブジェクトストレージ	S3	ストレージサービス。データ保管、バックアップ用途
ファイルサーバー	EFS	NFSマウント利用可能なストレージ

仮想サーバーを利用する際は必ず標準 Disk を合わせてご利用頂く必要があります。

S3 ストレージは同一リージョン内での利用の他に DR(ディザスタリカバリ)等災害や大規模障害対策として他のリージョンを指定する事も出来ます。

【ネットワークその他サービス】

IPaC (AWS) 利用に際し以下のネットワークサービスを利用する事が可能です。

サービス名称	AWSサービス名称	内容
VPNゲートウェイ(拠点用)	VPC Site-to-Site VPN	お客様拠点とIPaC上の独立したネットワーク環境 (VPC) を結ぶサービス
クライアントVPN	VPC クライアント VPN	クライアントから接続する際のVPNの受け口
NATゲートウェイ	VPC NATゲートウェイ	NAT変換用サービス
VPCゲートウェイ	VPC Transit Gateway	VPC同士を接続するサービス
ロードバランサー	ElasticLoadBalancing	負荷分散サービス
DNS	route53	DNSサービス
WAF	Web Application Firewall	WEBサーバー用のファイアウォールサービス

・ VPC ゲートウェイ

お客様拠点と IPaC (AWS) の接続を行う場合は上記サービスとは別に通信事業者の接続サービスの契約が必要となります。

また外部との通信の場合はトラフィックに応じた通信料が掛かります。

・ インターネット回線

IPaC (AWS) ではインターネット接続サービスを提供しています。IPaC (AWS) 内の仮想サーバーへの通信は無料となります。IPaC (AWS) 内の仮想サーバーから外部へのサービスは通信量に応じた料金が必要となります。

【データ転送】

サービス名称	AWSサービス名称	内容
インターネット (アウトバウンド)	Internet	インターネットへのデータ送信
拠点への通信 (アウトバウンド)	DataTransfer	拠点のデータ送信

- ・ファイアウォール機能

IPaC(AWS)ではホスト型ファイアウォールを提供します。仮想マシンに接続する通信全てをフィルタリングできます。

- ・IP アドレス

全ての仮想マシンは以下のプライベート IP アドレスの範囲内で、CIDR 表記で指定して下さい。

- ・クラス A : 10.0.0.0～10.255.255.255
- ・クラス B : 172.16.0.0～172.31.255.255
- ・クラス C : 192.168.0.0～192.168.255.255

インターネットへの接続は仮想ルータにてアドレス変換することで接続します。

- ・物理機器

IPaC (AWS) では物理機器を設置できません。物理機器設置が必要な場合は別途データセンター等のハウジングサービス等の利用も合わせてご検討下さい。

【監視サービス】

- ・IPaC(AWS)では監視サービスを提供します。

お客様のサーバーや各システムは、共通基盤の監視サーバー (Netkid) から統合監視を行います。

- ・監視対象は IPaC (AWS) 上に構築されたサーバーおよび IPaC (AWS) 利用のために接続されたネットワーク機器となります。
- ・監視内容は死活監視およびリソース監視 (CPU、メモリ、Disk 状況) を行う事が可能です。監視内容および間隔は当社エンジニアにご確認ください。
- ・監視サーバーにてアラートを検知した場合、当社カスタマーサポート室に通知され弊社エンジニアおよび予め決めたお客様の連絡先へ連絡を行います。

【保守サービス】

- ・IPaC (onAWS) では保守サービスを提供します。

対象は IPaC (onAWS) 上に構築された共通基盤およびお客様毎のネットワーク (VPC) までとなります。VPC 内に構築された各サーバー、アプリケーション等のシステムは個別の保守サービスでの対応となります。

- ・異常を検知または連絡を頂いた際、弊社エンジニアがシステムの状況確認および復旧の対応を実施します。
- ・保守対応は 24 時間 365 日対応します。

以上

【改訂履歴】

2022 年 7 月 14 日 初版

2023 年 3 月 16 日 監視サービス、保守サービスを記載

2023 年 7 月 12 日 サーバタイプとして M6, C4、DB タイプとして m6 を追加